

OB通信

鳳 羽

復刊第5号

= 2009年12月 =



山口大学ワンダーフォーゲル部OB会

はじめに

鳳翩会 会長 山本 充二

新 … 期待と不安が交錯するカンジの今年（2009年）の世相です。
迎える新年、それぞれへ想いを馳せながら、元気で明るい年に、と念じる次第です。

2009年OB会総会・懇親会は、去る10月3日、京都市の「いろは旅館」で開催され、全国から49名が集い、おおいに旧交を温め、盛り上がりました。また、総会に先立ち、昼前からは近郊の鞍馬～貴船神社コースを散策しました。コース途中には、牛若丸が修行したという鬱蒼とした樹林に佇み、義経を育んだといわれる「早天の気」に、いささか触れた気分でした。

関西支部の皆様には、行楽シーズンにおける会場の手配や会員向け散策コースの選定など準備を重ねられ、種々お世話いただき、改めて感謝とお礼を申し上げます。

さて、このたびの総会では、

①設立済みの東京支部の他に、新たに関西支部、山口支部、九州支部を、会則上、明確に位置付け、それぞれに支部長を置くこととしました。これを契機に、今後、各支部の会員の結束が一層強まり、また、本部と各支部、支部相互間の連絡・交流がより円滑になることを期待しています。本通信には、設立された各支部の長、連絡窓口を掲載しています。ご参照ください。

②2010年のOB会総会は、東京支部で引き受けてもらうことになりました。

総会后、東京支部では、早々に開催日（10月23日・24日）及び場所（立川市、高尾山散策プラン）を決めるなど、開催準備に取りかかっておられます。会員の皆さん、新しい手帳に是非、記入しておいてください。

③今回は会長等役員改選の年でしたが、引き続き、現体制で本部運営を担うこととなりました。どうぞよろしく願います。

なお、今後、会長等の選任に当たっては、別紙「鳳翩会 会長等役員選出要領」に沿って行うこととなりました。

OB会の母体ともいえるYUWV部の現役部員（1～3年）は、工学部（3年生1名）を含め、現在総数7名（1年3名、2年3名、3年1名）です。依然として廃部の危機にあり（特に、工学部）、新入部員を獲得するためOB会としても、引き続き最大限の支援をしていきたいと思っています。ご理解、ご協力をお願いします。

新年1月から、OB会の事務局長が交代します。松村 前事務局長（経・現4年）のご労苦に感謝します。新事務局長は清水 君（工・現3年）が担います。

連絡先（本部）

OB 会会長

山本 充二

OB 会副会長

田村 伊正

OB 会事務局長（学生）

清水 彬行

連絡先（支部）

東京支部

支部長 城戸 賢嗣（経・49卒）

事務局長 宮原 龍作（経・50卒）

山口支部

支部長 池富士 清（農・47卒）

目次

2009年OB総会の報告	1
2008年OB会会計最終報告	2
監査報告書	3
2009年OB会会計中間報告	4
OB会員の皆様へ	5
OB会費納入について	
入会、脱会について	
YUWVホームページ	
OB会ホームページの利用について	
山口大学ワンダーフォーゲル部OB会「鳳翔会」会則（改正後）	6
鳳翔会 会長等役員選出要領	8
会員近況・活動報告	9
全国総会・交流会 開催予告（東京支部長 城戸賢嗣）	9
近況報告 東京支部（高田 哲生）	10
私とワンゲル 関西支部（森 裕子）	11
マイプライベート 山口支部（八谷孝徳）	11
近況報告 福岡支部（笹田 昭一）	12
山口支部報告	13
現役活動報告	14
OB会へのお礼	14
執行部近況報告 本学	14
執行部近況報告 工学部	14
夏合宿結果報告	15
アフター結果報告	15
八十キロ耐久徒歩	15
春合宿コース紹介	15
編集後記	16
【2009年OB総会の報告】	

2009 YUWV OB会 鳳翔会 総会 次第

いろは旅館 [京都市]

2009. 10. 3 (土)

- 1 開 会 (司会：岡田耕治)
- 2 会長挨拶
- 3 議長選任 (議長：尾儀一郎)

- 4 議 事
 - (1) 2008年事業報告及び2009年事業(中間)報告
 - (2) 2008年会計報告及び2009年会計(中間)報告
★別添会計報告に基づき、田村副会長が説明
 - (3) 2008年会計監査報告
★別添監査報告書のとおり、池富士監査役が報告、以上承認された。

 - (4) 会則の一部改正
 - ①会の略称変更 {第一章 一}
Y.U.W.V.OB会 鳳翔会 → 鳳翔会
 - ②支部の追加 {第四四章 五}
東京 → 東京、関西、山口、九州
 - ③役員規定の修正 (第六章 二)
支部長 一名 → 各支部 一名
(新規追加) HP 管理者 一名
 - ④会則の章、付則の整理
★田村副会長が趣旨説明、以上承認された。

 - (5) 役員の変更
★役員(任期2年)の改選期を迎えたが、現会長再任となった。

 - (6) 2010年総会開催地
★東京支部で引き受け決定(東京支部：宮原事務局長)

 - (7) その他
★別紙「鳳翔会 会長等役員選出要領(案)」を諮り、承認された。
☆各支部は、支部長、連絡窓口を決定されるよう依頼。

- 5 議長解任
- 6 閉会
 - ・連絡事項(懇親会、宿泊など)

OB会員の皆様へ

1.1 OB会費納入について

会費未納の場合は自然脱会となっております。会費のお支払いはお忘れなきようお願い申し上げます。なお2009年まで納入で、2010年以降が未納の方にのみ、今回振込みをお願いする紙を同封しております。2010年分OB会費を納入されていない方はお手数ですが、郵便振込みにて下記へ納入してくださいようお願い申し上げます。なお、2009年分OB会費が未納の方は自然脱会となっております。

口座記号番号 01530-0-16050

加入者名 山口大学ワンダーフォーゲル部

会費納入は上記の倍数で御支払いただきますようお願い申し上げます。

OB会費の納入状況についてのお問い合わせは

事務局長 清水彬行

までお願いします。

1.2 入会、脱退について

初めて入会される方、再度入会される方は会費振込みを意思表示とさせていただきますので、前記の口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。会費未納の場合は、自然脱会となりますので、会費のお支払いはお忘れなきようお願い申し上げます。

1.3 Y. U. W. Vホームページ

山口大学ワンダーフォーゲル部のホームページをご紹介します。是非ご覧ください。

Y.U.W.VホームページURL

<http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~tabidori/>

山口大学ワンダーフォーゲル部OB会「鳳翔会」会則（改正後）

（名称）

- 第一章 本会は山口大学ワンダーフォーゲル部OB会 鳳翔会（略称 鳳翔会）と称する。
- 二 事務局は山口大学ワンダーフォーゲル部内に置く。

（目的）

- 第二章 本会は会員相互の親睦を図り、山口大学ワンダーフォーゲル部の発展に寄与することを目的とする。

（事業）

- 第三章 本会は第二章の目的達成のために次の事業を行う。
- 二 会員相互間の親睦に関すること。
- 三 山口大学ワンダーフォーゲル部に対する援助、指導助言等。
- 四 会報及び会員名簿の発行。
- 五 その他本会の目的達成のために必要と認められる事業。

（組織）

- 第四章 本会の会員は次の通りとする。
- 二 正会員 山口大学に在学中に山口大学ワンダーフォーゲル部に在籍した経歴を有し、且つOB会に入会の意志を表明した者。
- 三 準会員 山口大学体育会ワンダーフォーゲル部員。
山口大学学友会ワンダーフォーゲル部員。
- 四 正会員たる有資格者の入会及び脱会は自由とする。入会の意志表示は会費の納入をもってこれに代え、脱会はその意志の表明で認め、総会に報告する。
- 五 本会に次の支部を置く。
東京、関西、山口、九州

- 第五章 正会員は次の場合、その資格を失う。

- 二 会費滞納者には半期（半年）毎に督促状を送付し、督促状三回をもって自動的に正会員の資格を失う。
但し、再度入会の意志表示があった場合はこれを認める。
- 三 会員としてふさわしくない行為のあった者。

- 第六章 本会には次の役員を置く。役員の任期は二年とする。但し再任は妨げない。

- 二 会 長 一名
副 会 長 一名
支 部 長 各支部一名

会 計	一名
監 査	二名
事務局長	一名
H P 管理者	一名

- 三 会長は会を代表し会務を総括する。
- 四 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代行する。
- 五 支部長は支部を統括する。各支部はその必要に応じて幹事等の役員を置く。
- 六 事務局長は山口大学ワンダーフォーゲル部の直前主将が務める。
但し、直前主将に支障あるときは直前の副主将または直前主将が指名する者がその任に当たる。
- 七 役員任期は一月一日から起算する。なお、任期終了後も次期役員を選出まではその任を継続する。

(総会)

第七章 総会は次の通り開催する。

- 二 定期総会は年一回とし、必要に応じて臨時総会を開催する。
- 三 総会は会長が招集する。
- 四 総会への出席は委任状をもって代えることができる。
- 五 議事は総会の出席者（委任状を含む）の過半数で議決する。

(会計)

第八章 本会に会計を設け、会費及び寄付金、その他事業収入をもって会の運営費に当てる。

- 二 正会員の会費は年二千円とし、五年単位の一括納入を認める。
但し、夫婦とも正会員の場合は夫婦二人で年三千円とする。
- 三 寄付金は一口千円とし、常時受け付ける。
- 四 会計報告は監査報告と併せ、年一回定期総会で行う。
- 五 会計は毎年一月一日をもって始まり十二月三十一日に終わる。

(その他)

第九章 本会則は総会出席者の三分の二の賛成を得て改正することができる。

(附則)

第十章 本会則の発効をもって昭和四十三年十二月制定のOB会則はこれを廃棄する。

- 二 本会則は平成十四年十月五日から発効する。
- 三 本会則は平成十九年十一月十日から発効する。
- 四 本会則は平成二十一年十月三日から発効する。

鳳翔会 会長等役員選出要領

2009. 10. 3

1 新たに会長を選任する場合、次の要領で行うものとする。

(1) 選考委員会を設けて、候補者を予め選考し、総会に諮り決定する。

(2) 選考委員会の構成は、直前会長・副会長、現会長・副会長、各支部長、監査と
する。
る。

(3) 候補者の選考は、総会に付議する3か月前までに行う。

2 新たに選任された会長は、必要に応じ、副会長等その他の役員(支部長を除く)を
選
任し、直近の総会又はOB通信等で会員に報告するものとする。

会員近況・活動報告

来年度 YUWV OB会 全国総会・交流会 開催予告

YUWVOB会 東京支部長 城戸賢嗣

京都での総会で来年度は関東での開催が決定されました。

関東での開催をお引き受けする際に、総会参加者に希望地を打診しましたところ、懇親会の席上、ある方々（複数の方）から“あのビルゲイツも登ったという高尾山に行きたい”というお声をいただきました。

高尾山は仏ミシュランの観光地格付けで三つ星の評価を受けています。また世界一登山者の多い山です（年間 260 万人）。関東在住の方々には今回はホスト役に徹していただき、関東外の方々にも一人でも多くの OB にご参加いただければ幸いです。少々、早い気もしましたが、“一人でも多くの…思い”をこめて、異例の予告としました。（12月12日の東京支部の忘年会で決定。欠席者の方ご了承下さい）

概要は以下の通りです。（詳細はあらためて8月頃ご案内します。）

1. 開催日時

2010年10月23日（土）～24日（日）

総会 17:30～18:30 懇親会 19:00～21:00

2. 開催場所

「ザ・クレストホテル立川」（帝国ホテルグループ）

東京都立川市錦町 1-12-1 TEL042-521-1111

3. 東京エンジョイプラン

10月23日 A 高尾山登山

B ビール工場見学（サントリー武蔵野工場）

10月24日 A 御岳散策

4. 参加費

@16000（ホテル一泊朝食付き＋懇親会費含む）

*宿泊は2人部屋・3人部屋の利用です

近況報告

東京支部 49 年工学部卒 高田哲生

YUWV OB 会の皆さんお元気でしょうか。

卒業後もワングルで活動し合った仲間とこうしてつながりを持てることに喜びを感じております。

あれよあれよという間に60に手が届く年齢になってしまいましたが、これからもあつという間に月日が経っていくんだろうなあと感じる今日この頃です。

さて最近の話題ですが、2009年11月に萩市内のオートキャンプ場で49年と50年卒の工学部OBが集い旧交を温める会が催されました。その時残念なことに私ただひとり参加できませんでした。折角集まってくれた皆に申し訳なかったなあという気持ちで思いをめぐらせていたところ、2日目の朝、私の携帯に電話が入り、参加者が代わる代わる言葉をかけてくれました。永い間会っていなかったひとりひとりの顔が臉に浮かび、感激で胸が一杯でした。

次は数年前の富士山登山の思い出です。

朝5時頃から5合目を出発し、快調に歩を進めていたのですが、8合目あたりから急に体調がおかしくなり、顔面蒼白、吐き気も襲ってきて、もう死ぬんじゃないかという心境になりました。“高山病”というやつです。歯をくいしばり、なんとか登頂はしましたが、対照的にピンピンしていた妻にはあれ以来頭が上がりません。これから富士登山を目指す方々にはくれぐれも注意されることをおすすめします。それまでワングルで鍛えた自慢の足、持っていた体力への自信がすっかり揺らいだ苦い出来事でした。

東京支部では年に何度か集まり懇親する機会があります。現在、東京支部2代目事務局局長宮原君（50年卒）が幹事で、暑気払いや忘年会、日帰り山行を行っています。

2009年4月には中央線沿いの陣馬山に10数人で登りました。富士山も望める360度大パノラマのきれいな山です。天気は快晴、山桜やつつじも満開でした。頂上では山小屋のビールで乾杯もできます。下山してからの懇親会も格別です。以前は藤野温泉と組合せたこともありました。仕事を離れこのように仲間と元気で楽しむことができる機会は何よりの宝だと思っています。当時、登山口に掲示されていたブログを紹介しますが、それぞれに気の利いたコメントが書かれており、植物好きの方には参考になるでしょう。赤黒い花なのに「我も紅」と自分から主張して名付けられたワレモコウの由来など興味深いものです。

次のアドレスでアクセスできます。

<http://ichinoo.exblog.jp/>

年齢的にも健康について話題にすることが多くなりました。身体に良いといえば納豆、バナナ、寒天など何にでも飛びつき、酒を飲んではウコンを飲んでいますが、メタボからの脱却願望は大いにあるのですが、実践が伴わず反省の日々を送っております。

私とワングル

関西支部 S54年卒 森 裕子

大学を卒業して、早30年以上経ってしまつた。30数年前、まだ温暖化の兆しを

感じられず、10月から炬燵を出していた山口の秋の頃、今の自分を全く想像できなかった。今はこの現実を夢であって欲しいと願いながらもこの現実を認めざるを得ない。残された時間をどう生きて行こうかとまだ模索中です。

さて、学生時代の私はあまり熱心なワンダラーではなかった。ただ、トレーニングにはまあまあ参加していたと思います。が……。合宿には2回しか参加していない。1年の春合宿と2年の夏合宿である。春合宿は、鹿児島島の硫黄島（喜界島）と黒島に行きました。黒島では、最後に島の人にお風呂に入らせてもいただき、生椎茸をいただいた。黒島では島の神社で、変わったお面を見て、今村昌平監督の「神々の深き欲望」を連想した。夏合宿では、北アルプス表銀座コースを山行した。私にとって、生まれて初めての2000m以上の登山でした。

印象に残っているのは、食欲があり、よく眠れたことと槍ヶ岳の頂上に着いたときに飲んだ粉ジュースがおいしかったことです。熱心ではなかった私でしたが、教師になってから野外活動の中で登山する機会が多く、下見で同僚の先生方と登山すると意外と体力があるのに我ながら驚きました。ワンゲルのトレーニングのおかげです。当時のトレーナーの先輩の諸氏の方々遅くなりましたが、ありがとうございます。現在は水泳ができないので週に1回水泳教室に通っています。やはり、何だかんだといっても私の生活の中にワンゲルが根付いていることを気づき始めた今日このごろです。高い山には登れないけどご近所の山等に登って長生きしていきたくて思っていますので誘

ってください。

マイプライベート

山口支部 昭和54年卒 八谷孝徳

みなさん、こんにちは！ワンゲル時代を懐かしみながら書いております。私は大学入学後4つのクラブに顔を出していました。最終的にワンゲル部に入部したのは、今までの自分とは別世界に入りたいこと、運動をして汗を流すのが好きだということでした。遅れて入部した日のトレーニングは忘れもしません。訳も分からず走った後の「ボッカ」でばててしまい、体重の軽い先輩に代わってもらいようやく終えました。私は中学・高校時に陸上競技部に所属しており（短距離でいつも他の選手の背中を見て走っていた）、ばてたことを悔しく思いました。

学部は文理学部で、文学部哲学・倫理専攻です。講義、トレーニングの毎日でしたが、皆が集まる節目・節目のコンパ、誕生日会は楽しいものでした。ちなみに、私の誕生日は春休みなので、皆が集まる会はありませんでした（少し涙をこらえる）。しかし、2年の時は、春合宿で島に向かう船上で突然祝ってもらいました（ここでさらに涙をこらえる）。

また、マラソン大会では、先輩の吉岡さんには絶対に勝てなかったこと、駅伝大会では硬式テニス部の強さはなぜなんだと思ったことなども思い出します。

合宿においては、北アルプスで雲海から昇る太陽を見て「ここまできつい思いをしたからこそその景色だ」と思いました。また、

休憩時に飲んだ雪渓の水があまりにも美味しく、現在に至るまでこの時の水のおいしさに勝るものはありません。この頃の体調はすごく良く、一番体が絞れていました（今は、、、）。そういえば、現陸上競技部員が私の高校時代の写真を見たいというので、探しても無かったのでワングル時代の写真を見せました。私がそこで見たのは、充分絞れた体と十分なhairでした（ここでついに泣く）。ずっと富士山がついてきた南アルプス、ずっと雲がついてきた西表島、思い出は尽きません。

悲しい出来事もありました。同期生の桑野君が大山に行くために道路工事のバイトをしていて、トラックにはねられ死亡しました。そのトラックの運転手は、違法な距離の運転をしているの居眠り運転でした。彼に関わった人は、彼の分まで生きています。

卒業してからは高校教員となり、陸上競技部を受け持ちました。ある時、岩国基地が主催する錦帯マラソンのゴールを手伝っていたら、ワングル部の後輩M君がゴールしました。いつも励ましながら走っていたM君だったので、思わず出てきた言葉は「おまえ、何しとるん！」。この瞬間に私は次のフルマラソンに挑戦することを決心しました。走っていた財産は少しありましたが、練習は辛いものでした。本番では、15km過ぎても調子よく「もしかして俺はすごいランナーではないか？」と思うほどでした。しかし、中間点を過ぎて体が別物になり、明らかに早歩きのおじいさんにも抜かれていきました。ゴール直前の感覚は今でも覚えています。家に帰ってからは、しばらく体が動きませんでした。ただ惜しかった

たのは、あと一時間十分速く走っていたら当時の日本記録だったことです。

現在は足の故障が契機でサイクリングと出会い、三国君、坂田君達と山口県内を走り回っています。ウォーキングとドライブのいいとこ取りで、自然（風景、風、音、匂い）を満喫し、心地よい体の疲れを味わっています。

これからもワングルで得たものを大事にし、毎年入れ替わる生徒達の若いエネルギーをもらいながら、授業に、部活動に、趣味にと日々を重ねていきたいと思えます。

近況報告（福岡支部）

福岡支部 S55年卒 工学部 笹田 昭一
卒部して30年目を迎え、はや半世紀を越える人生を送ってきました。今回、近況報告の原稿を依頼されましたので、報告させていただきます。

■ 福岡支部の近況

昨年（H20年）はOB総会の開催地として、毎月のように準備会（飲み会）がありました。今年は飲み会もさることながら、登山を2回（私は不参加ですが・・・）行うなど、活発な活動をしております。

- ① 九重登山（5月23、24日）：6名
- ② 万年山（大分県）登山（11月7日）：8名

■ 小関君（S55年卒）が中国に単身赴任するぞ！（In 宇部）

同期生の小関君が今年（H21年）7月に中国の無錫へ単身赴任するとのことで、4月25、26日に宇部で壮行会を開催しました。

60歳の定年まで会えないだろうと、S55年卒の小関、寺園、三国、小坂、笹田、S56年卒の宮園、植村、S57年卒の小松の8名が、北は栃木県、南は鹿児島県から、卒部以来30年ぶりに宇部の町で再会しました。

皆、髪の毛が薄い、メタボ等の体型は変わったものの、中身（精神年齢）は昔と変わっていませんでした。お互いの近況報告やワンゲル時代の話に花が咲き、夜を徹して語り（飲み）明かしました。

翌日は、常盤台にある工学部に行きましたが、30年前とは様変わりしており、唯一懐かしかったのは、3年間過ごさせて頂いた常磐寮がまだ存在していたことです。

その後、山口の本学へ行き、ボックス（部室）を拝見（写真参照）、昔と変わらず、綺麗でない部室（散かっている）になつかしさと当時の思い出が走馬灯のように巡ってきました。そして、今度（3～5年後）は中国無錫で同窓会をやらうね！と約束し別れました。

山田屋旅館（よくコンパやったよね～！）



本学のボックス（部室）前で（なつかしか～！）



■ 私の近況

私は、卒部後、新入社員教育で九重に登って以来、山らしき山に登っておらず、ワンダーフォーゲル部OBとしてお恥ずかしい限りです。福岡支部の飲み会で山の話がよくできるので、私も本年、20年ぶりに近くの立花山（標高：367m）に登ってみました。今後は無理をせずに森林浴程度の登山を目指していこうと思います。

ところで、昨年より2回目の単身赴任生活（自炊）を送っております。自分でも褒めてあげたいほど料理が上手になりました。これもワンダーフォーゲル部でエッセンをよく作ったからだと思います。もし、熟年離婚されても、一人で生きていけそうな気がしま～す。

それでは、皆様お元気で、次回のOB総会でお会いしましょう！

山口支部報告

山口支部発足集会を下記の通り開催し、支部役員を選出しました。

日時：2009. 11. 19 (平成21年) 19:00～22:00

場所：山口グランドホテル 2Fルビーの間

参加者：懇談会 19:00～20:30 15名出席

末國弘司 (40 経)、木山克彦 (42 農)、山本充二 (47 経)、池富士 清(47 農)、合志栄一 (47 経)、古谷真之助 (52 経)、田村伊正 (53 工)、八谷孝徳 (54 文)、浜野 宏 (54 理)、三国 彰 (55 工)、藤井正彦 (56 教)、坂田信一 (57 理)、平野展康 (59 経)、斉藤昌彦 (60 農)、西村朋子 (21 経)

懇親会 20:30～22:00 11名出席

役員選出

山口支部長 池富士 清 (本部監査・47 農)

幹事 (本部兼任) 山本充二 (会長・47 経)、田村伊正 (副会長・53 工)、古谷真之助 (監査・52 経)

幹事 三国 彰 (55 工)、藤井正彦 (56 教)、坂田信一 (57 理)、斉藤昌彦 (60 農)、原 秀樹 (12 経)、西村朋子 (元事務局 21 経)

山口支部への連絡先は下記の通りです。会員の皆様、宜しくお願いします。

<連絡先>

池富士 清(47 農)

第3章

現役活動報告

OB会へのお礼

本学 第49期主将 松村将太

今年からOB会費のほうから5万円を部の活動のために使わせていただいております。なにに使うかまだ部内で検討中ですが、このお金を部のますますの発展のために使わせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

3.1 執行部近況報告

本部 第49期主将 松村将太

前年度に引き続き、本学の主将を務めさせていただきました、松村将太と申します。

本学は3年生が不在のため4年生が今年も主将と副主将を務めさせていただきましたが、100年に1度の不況といわれる中、4年生2人とも就職活動のほうが思うようにいかなかなか部活に顔を出せないという日々が続いてしまいました。しかし、そんな中でも2年生と1年生が協力してやっている姿をみるととてもうれしく思いました。この調子で来年も新執行部のもと頑張りたいです。

今年はOBの方からのご好意で8月に萩の海の家で海合宿をやらせていただきました。新たに1年生2名を呼んで山口県立大学と合同でやらせていただき、1人興味を持ってくれた子がいたのですが、金銭的な

問題から入部まではいたることができませんでした。しかし、こういうことをやってワングルに興味を持ってくれるということがわかったので、これからもこういった活動を通して部員確保のほうを頑張っていきたいと思います。

また、今年の夏合宿は白馬岳に行く予定だったのですが、部員の1人が新型のインフルエンザにかかってしまい他の部員にも感染の恐れがあるということから、自宅待機という風に言われまして、出発予定日が遅かったこともあり、やむなく中止ということにしました。また来年白馬岳には挑戦してほしいと思います。11月には毎年恒例の学長杯駅伝があり、みな日ごろの練習の成果を発揮してくれ、23チーム中13位という結果を残すことができました。

部員確保が最近のワングルの最大の課題ですが、来年は最低でも5人は入れようと今から意気込んでくれています。県内ワングルで協力しあってこれまで以上に部を盛り上げていきたいと思っていますので、これからも応援のほうよろしくおねがいします。

3.2 執行部近況報告

工学部 第47期主将 清水彬行

工学部では、現在3回生1名、4回生1名の計2名で活動しています。前期と同じように後期も4年の先輩が研究室で忙しいので、2人で一緒にトレーニングをやるのが難しいんですが、なんとかやっていきたいと思います。

夏合宿は、人数の関係で本学と合同で行

う予定でしたが、部員の新型インフルエンザの感染と他の部員にも感染の疑いがあったため、中止にしました。夏合宿の代わりに1泊2日で大分の由布岳にFWに行きました。詳しくは夏合宿結果報告を参照して下さい。

10月10日～12日の3連休に山口大学工学部、山口県立大学の主幹で中国四国合同ワンデリングを秋吉台で行いました。みんなの予定があわず、計画が大変でしたが、他大学の方に楽しんでもらうことができ、無事成功することができました。自分は実行委員長をやりました。

先日、学長杯駅伝大会が行われました。2ヶ月前から上位に入ることを目標にして練習してきました。結果は14位で少し残念だったけど、一人一人が頑張って全力を出してくれたので良かったです。

現在、部員が少なくて行事をしたりするのもなかなか大変ですが、頑張って活動していきたいと思います。来年は部員獲得の為に努力したいです。

3.3 アフター結果報告

責任者 菊池武臣

今年のアフターは富士山での山行を予定していましたが、直前に2回生の菊池が新型インフルエンザに感染し発症したために条件を満たせず、中止となりました。

3.4 八十キロ耐久徒歩

責任者 清水彬行

工学部、宇部高専の部員不足のために去年と同様に今年は中止にしました。

3.5 春合宿コース紹介

責任者 菊池武臣

トカラ列島宝島にてサバイバルを行う予定です。宝島港に到着後、大籠海水浴場(キャンプ場)に移動し、そこをベースとしてサバイバルや島歩きを行い、食料は主食となる米と調味料以外は持ち込まず、釣りによる漁や植物の採取によって現地調達することにします。

場所を選んだ理由としては現在現役の部員が本格的な登山を達成したことがなく、また経験も浅いため直接アドバイスの聞くことができる4回生が経験したことのある場所にしかかったということと、去年の春合宿は屋久島で宮之浦岳に登る予定(エスケープ)だったのに加えて1回生に意見を聞いた結果として今年はサバイバルにしようということになりました。

編集後記

編集 松村将太

OB通信を編集、またOB総会などに参加させていただくなかで、多くの山大ワングルOBの方々と触れ合う機会が多くなったような気がします。そのような中で、改めてワングルの歴史の古さに驚かされましたし、またOBの方々が本当にワングルを大切に思っているということがひしひしと伝わってきました。

現在部員数が少なく以前のような活気あふれる部活とは言いがたくなっていますが、山大ワングルの先輩方が作り、そして発展させてきたワンダーフォーゲル部というものを簡単になくしてしまっはいけないと思いますし、OB総会などでOBの方々の熱い話を聞くなかで改めてそう思いました。確かに今は部員数が少ないですが、山口大学と、山口県内の他大学のワングルのみなさんでワングルを盛り上げていきたいと思ひます。

1年間事務局を務めてきて、色々なことを経験することができました。最初は分からないことばかりでOBの方々に迷惑をかけてしまいましたが、様々な仕事をしていく中で自分にとってもプラスになる仕事となりました。1年間本当にありがとうございました。

